

# プロスポーツクラブとの連携プロジェクトでのマネジメント実践

団体名 ● 地域スポーツマネジメント研究室 / 代表者名 ● 西村貴之 (人間科学部スポーツ学科・教授)

## はじめに

筆者が指導教員を担当する地域スポーツマネジメント研究室は、“スポーツで人と地域を幸せにする”を理念に掲げ、行政、NPO 法人、地域スポーツクラブ、プロスポーツクラブ、企業、まちづくり団体などの連携プロジェクトを実施し、にぎわいの創出、課題解決といった地域活性化の担い手となる、「地域スポーツマネジメント人材」の育成をめざしている。

プロスポーツ分野では、競技や種目に関わらず、地域密着型経営が叫ばれ、各チームが多様な地域貢献活動を展開している。競技の普及、ファン獲得、観客動員を意図した選手・コーチによるスポーツ教室の開催はもとより、プロスポーツクラブが媒介し、多様なステークホルダーのパートナーシップによる地域や社会の課題解決に向けたアクションが生まれている。また、多くのプロスポーツクラブでは興行における若年層の取込みを課題としており、大学および学生との連携に対するニーズがあることから、今回のプロジェクトが展開される運びとなった。

## 活動内容

以下ではプロスポーツクラブと本研究室とが連携した3つのプロジェクトを紹介する

### (1)石川ミリオンスターズ(野球/日本海オセアンリーグ所属※事業実施)との連携プロジェクト

名称：スターライトフェスティバル2022

目的：①若者の新規ファンを増やす、②野球を知らない人でも楽しめて野球観戦のきっかけになる機会づくり

日程：2022年7/23 (土)vs富山GRNサンダーバーズ  
7/24 (日)vs福井ネクサスエレファンツ

場所：金沢市民野球場

参加：本学学生27名

内容：①選手人気投票、②来場者参加型ブース(千本引き、ストラックビンゴ、スイングスピード測定、ティーボール打ち放題、リアル野球盤ポッチャ)、③みんなでダンスチャレンジ、④会場ライトアップ(ペットボトルツリー、竹ランタン)



選手人気投票



球場内での学生MC



ティーボール打ち放題



リアル野球盤ポッチャ



ダンスチャレンジ



会場ライトアップ

以上の企画に関して、ゼミ内のプロジェクト担当学生が中心となり、企画立案、連絡調整、関係機関への依頼、案内チラシ・ポスターの作成、物品調達、当日運営統括などのマネジメント業務を行った。

### (2)富山グラウジーズ(バスケットボール/B1リーグ所属)との連携プロジェクト

名称：Do Action Go Grouses ~ SDGs に喰らいつけ~

目的：SDGsを知るだけでなく、行動に移すことができるきっかけづくり(①パラスポーツを知ること、ともに住み続けられるまちづくりに関わるきっかけを提供する、②再利用を通して富山グラウジーズを応援する)

日程：2023年1月22日(日)

場所：富山県富山市総合体育館

参加：本学学生14名

内容：①スタンプラリー(SDGsクイズ、パラスポーツ体験ブース【車いすバスケットボール、卓球バレー、車いす de ストラックアウト】、ペットボトルキャップアート)、②グラウジーズ所属選手のSDGsの取組み紹介・みんなのSDGs宣言、③会場内で行えるSDGsアクションの掲出



SDGs クイズ



パラスポーツ体験



ペットボトルキャップアート



完成したキャップアート



会場内でのSDGsアクション



選手/みんなのSDGs

以上の企画に関して、ゼミ内のプロジェクト担当学生が中心となり、企画立案、連絡調整、関係機関への依頼、案内ポスター作成、物品調達、当日運営統括などのマネジメント業務を行った。

### (3) 金沢武士団(サムライズ)(バスケットボール/B3リーグ所属)との連携プロジェクト

名称: 金沢武士団魅力向上プロジェクト

目的: ①金沢武士団の各選手の個性をさらに発信し、チームの露出を高め新たなファンを獲得する、②来場者における試合観戦時の新しい楽しみ方を創出する

期間: 2022/12/1(木) ~ 2023/3/11(土)

場所: 金沢市総合体育館、オンライン

参加: 本学学生10名

内容: ①金沢武士団特設 TikTok アカウントの開設および学生による定期配信、②「武士団フォトコンテスト2022～選手が選ぶベストショット～」の実施、③2/19(日)、3/11(土)ホームゲームでの「武士団クイズ」(試合結果や展開の予想クイズ)の実施



特設 TikTok アカウント



武士団フォトコン

以上の企画に関して、ゼミ内のプロジェクト担当学生が中心となり、企画立案、連絡調整、TikTok 配信コンテンツの取材・撮影・作成、案内ポスター作成、フォトコン運営、武士団クイズの試合会場での運営管理などのマネジメント業務を行った。

### 成果、結果の考察

各プロスポーツクラブとして「やりたくてもできない」状況にあった、新規の取組みを実施することができた点では高い評価を得ることができた。プロスポーツクラブと連携した新規企画を立ち上げ、実施するというチャレンジングな経験は、学生達にとってスポーツマネジメントの実践的な学びとなり、今後のキャリア形成に対する一つの契機となっていた。また、参画した学生達自身が各プロスポーツクラブの熱心なファンとなっていた。

試合観戦に訪れた来場者や各チームのファンからも各取組みに対して好意的な反応があった。各チームの魅力や価値を高める一助になったと考える。

### 今後の課題、展望

今回のプロジェクトが一過性のイベントで終わることなく継続的に展開され、各プロスポーツクラブの魅力や価値を高めていくための戦略的な連携が求められる。双方にとってのメリット醸成に向けた対話を通じ、新規ステークホルダーの巻き込みも含めた取組みの発展的な展開が望まれる。